

学校だより

熱沙

<発行>

令和4年10月20日

発行責任者：校長

和田 政男

熱沙祭アンケートの回答ありがとうございました。保護者の感想・その2

毎日セリフを練習していました。そしてお友達の演技などを見て勉強になったみたいです。他の学年の演目に対しても、「とても面白くて、すごかった!」と感想も聞けました。親子での会話にも繋がりました。

実際、子どもたちの演技、表情を見られて心温まりました。

そして、学校での行事開催、準備など先生方ありがとうございました。来年もたのしみにしております。

学校でもビデオ記録をされていた様ですが、他学年の演目も面白そうなものばかりでしたので、期間限定で構いませんので公開していただきたいと思いました。

実行委員、先生方の準備が大変だったかと思います。お疲れ様でした。

本番もみんな短期間によく仕上げ人前でも堂々と演じていたと思います。見ている方も元気を貰いました。

それぞれの立ち位置や演技についてよく考えて練習を頑張ったことと思います。子どもたちの一生懸命な様子に感動しました。先生方も短期間の間にまとめて下さり、ありがとうございました。とても良い経験と自信に繋がったと思います。3年ぶりに実際に観ることができ、とても嬉しかったです。

久々に子ども達の演技を鑑賞出来、子ども達のイキイキとした表情を見ることができて、とても感動しました。

当日朝は、子ども達も緊張しながらもワクワクした面持ちで家を出て行きました。

少し残念に思ったのは、以前(コロナ前)の熱沙祭は暗幕が全体にかかっていたり、スポットライトも舞台ももっと立派だったのでもっと本格的であり、見応えもあったように感じました。また保護者席も最後尾の椅子席以外に1番前にマット席があり、自分達の子どもの学年の時はそちらの前の席に移動して最前列で鑑賞することができました。今回は保護者席が最後尾のみで遠くでしか見られなかったのが残念でした。

また、中学部の演目に関しては、以前は脚本も演出も子ども達自ら作成していたと聞いていましたが、今年は全て用意されていたものを演じるだけで中学部の生徒にとって

はものたりなかったようです。演技や内容はさすが中学生、とても上手に演じていたと思います。

昨年度の中学部の発表を間近で見てまた、先輩から話を聞いて今年度は生徒が自分達で台本などを考え作り上げていくものだと思っていた子どもにとっては、今年度は与えられたものをやらされていると感じたようです。(本人の思春期による批判的な考えもあり) 思いを伝えると言われても、先生から与えられたものに乗せる思いとは何かと疑問感じていたようでした。家でも少し話していき、モチベーションが上がるようにしていきましたが、昨年度との違い(テーマ選び、準備、練習時間など)中学生となり時間がないためなのか、昨年度の中学部、G5.6でもやっていたのになぜ?と思うところが多かったようです。説明があったのかもかもしれませんが、納得していないのかもしれない。

鑑賞して、子ども達はみんな頑張っていた、話もよかったですと思いました。本人もやるべきことはやったと思えるようです。その分、子ども達が自分達でさらに工夫でき、満足感をもっと得られたらよかったのかなと感じました。長文失礼しました。来年度の熱沙祭だけではなく、今後の学習活動に生かして頂きたいと思いました。よろしく願います。

子どもたちの一所懸命頑張る姿を直で見ることが出来て本当に感動しました。

舞台前が一般観客席かと思っていたので、学校に着いてびっくりしました。前方の生徒たちで座った状態での演技はほとんどみえませんでした。

来年はぜひ座席配置を考慮していただきたいです。

<学校から>

心温まる、丁寧なコメントを多数いただき、まことにありがとうございました。

複数の方から要望のあった「記録用ビデオ」のTeams上での公開について、Teamsに動画をのせようとするとダウンロードできない形式に変換しなければなりません。動画変換の技術と長い動画では膨大な時間がかかることが昨年度やってみてわかっており、困難であると判断いたしました。ご理解くださいますようお願いいたします。

その他ご指摘いただいた事項に関しましては、来年度以降の行事計画の参考とさせていただきます。